

手術を受けられる患者様へ

面談日・入院日・手術日に
この冊子をご持参ください

松原徳洲会病院手術室では、安全に手術を受けていただくために、患者様にきまりごとを守っていただいております。これらはすべて、日本麻酔科学会と日本看護協会が全国の医療調査をもとに推奨している、必要不可欠なきまりごとです。次のきまりごとをもしお守りいただけない場合、手術は中止または延期とさせていただきます（急を要する手術については、医師の判断としています）。

内容について確認や相談されたいことがありましたら、できるだけ早く医療スタッフにお伝えください。よろしくお願いいたします。

① 禁煙

手術が決まりましたら、すぐに禁煙を始めてください。

喫煙は、手術中や手術後に呼吸困難と肺炎を引き起こし、手術後に人工呼吸器を必要とする可能性が高くなるという研究報告があります。また、ニコチンの作用で血管収縮や酸素不足が生じて傷の治りが悪くなり、傷が開いて再手術になることがわかっています。

いい呼吸できれいに傷を治すために、手術前から手術後まで、長く禁煙をお続けください。



② ペースメーカーを使用中のかた

必ず事前に、医師にお伝えください。

ペースメーカー手帳を、面談日・入院日・手術日にご持参ください。

③ お薬について

使用中のすべてのお薬を、医療スタッフにお伝えください。

手術当日までのお薬は、医師の指示をお守りください。

お薬手帳を、面談日・入院日・手術日にお持ちください。

ぜんそくの吸入薬をご使用のかたは、手術日にお持ちください。

④ 爪

ジェルネイル・つけ爪・マニキュア・ペディキュアは、すべてあらかじめはずしてください。爪は、短く切ってください。

指先は、患者様のお体のすみずみまで血流が安定して流れているかを知るための大切な観察部位です。血流不足・酸素不足の見落としは、命にかかわる医療事故につながる可能性があります。手術当日までに、“手も足も”爪をおおうものをすべておはずしてください。

また、『出血が起きたときに外科医が使う電気メスがネイルに通電して、指先に大やけどが起きた』という医療事故が報告されています。ネイル類には何らかの通電性成分が含まれていることがありますので、ご自身の指先保護のために必ずおはずしてください。

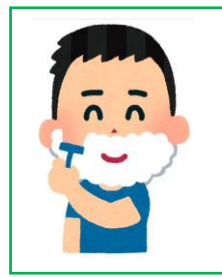
ネイル類をはずすためのお時間が必要な場合は、手術日の再考などを医師にご相談ください。

⑤ 人工まつ毛

まつ毛エクステやつけまつ毛は、あらかじめはずしてください。

全身麻酔の場合、目の乾燥や異物混入を防ぐための保護シールをはって、まぶたをきちんと閉じています。人工毛のまつげは、目を傷つける可能性があります。眼出血・結膜炎・角膜炎・角膜損傷・角膜潰瘍の医療事故や、それらによる視力低下の発症が報告されています。手術当日までに、必ずおはずしてください。

人工まつ毛をはずすためのお時間が必要な場合は、手術日の再考などを医師にご相談ください。



ご確認やご相談は、早めにお願いたします

⑥ 髪

髪エクステは、あらかじめはずしてください。
かつら・ヘアピースは、手術室入室までにはずしてください。

患者様のお体を動かすときに医師が頭や首を支える場合がありますが、その際に人工毛の部分があると、人工毛がずれることで頭皮・髪・首を痛める可能性があります。また、人工毛や固定具に何らかの通電性成分が含まれている場合、電気メスが通電して大やけどが起きる可能性があります。

手術室では、当院で準備した帽子をすっぽりとかぶっていただくことで頭や髪を保護いたします。人工毛は、その前までに必ずおはずしてください。病気や治療などでご事情があるかたは、医療スタッフにご相談ください。

髪の長いかたは、横に流して結んでいただきます。ヘアゴムをご持参くださる場合は、装飾やラメのないシンプルなものをお願いいたします。

髪エクステをはずすためのお時間が必要なかたは、手術日の再考などを医師にご相談ください。

⑦ 化粧

メイクや色つきのクリーム・ジェル・パウダーなどは、お顔に使用しないでください。

禁止 ファンデーション・アイシャドウ・口紅・リップクリーム
アイブロウ・アイライン・マスカラ・落とせるタイプのまゆずみ
ほお紅・色つきの BB クリームや CC クリームやジェルやパウダー

お化粧や顔の一部に色がついた状態での手術室入室は、いっさいできません。色のない基礎化粧品と日焼け止め以外は、顔や首につけないでください。

手術中は、患者様の顔色やくちびるの色を観察することで、お体の血流不足や酸素不足が起きていないかを確認しています。特に顔と脳は近いですから、脳の血液や酸素を知る重要な指標です。命にかかわる医療事故を防ぐために、ご協力をお願いいたします。

また、化粧品に含まれる通電性成分（ミネラル物質やラメ）は、電気メスが通電して大やけどが起きる可能性があります。予期せぬ不幸な事故を防ぐためにも、メイク類はお肌に残さないようにしっかりと落としてください。

⑧ 歯

取りはずしできる歯（入れ歯・抜ける差し歯・はずせるブリッジなど）は、手術室入室までにはずしてください。

歯周病・歯槽膿漏・歯のぐらつき・口の開きに不安があるかたは、かならず早めに医療スタッフにお伝えください。

取り外せる歯や装具をつけたままでの手術室入室は、いっさいできません。手術室入室時間までに、おはずしてください。歯の保護のためのマウスピースをお持ちのかたは、医療スタッフにお伝えください。

『歯周病や歯槽膿漏があると、口腔内細菌が全身麻酔の挿管チューブを通じて肺に侵入して感染し、肺炎を引き起こす危険性が高くなる』という調査があります。さらに、『口腔内細菌が血液に侵入して、敗血症という全身感染症になった』と様々な手術で報告されています。ぐらついた歯が抜けて気道のほうに落ちると、肺炎だけでなく窒息の危険もあります。安全な手術のために、歯や口をできるだけ健康で清潔にしてから手術をお受けください。

当院の歯科口腔外科では、歯科医と歯科衛生士による手術前の患者様のための診療と口腔ケアを、健康保険適用でおこなっています。医師や医療スタッフが【歯科受診が必要】と判断した患者様につきましては、受診をお願いいたします。また受診のご希望は、お気軽に医療スタッフにお伝えください。この機会に歯科診療を受けて、歯と口の健康を維持しましょう。

口の開きに不安があるかた・あごが痛いかた・顎関節症と診断されているかたは、必ず事前に医療スタッフにお伝えください。必要に応じて、麻酔科医や歯科医が手術前に診察をおこないます。

⑨ ひげ

上あご・下あごの両方とも、必ず広めにそってください。

全身麻酔の場合、患者様の口や鼻から気道に向かって、人工呼吸用の挿管チューブを挿入いたします（意識がない状態で挿入することがほとんどです）。挿入したチューブは上あごと下あごに医療用テープでしっかりと固定して、手術をおこないます。ひげがあると十分な固定ができず、お体が動いたときなどにチューブがずれたり抜けたりして、命にかかわる危険性があります。

安全に手術を受けるために、上あごと下あごの両方とも、そり残しなく広めにひげをそってください。

⑩ コンタクトレンズ

コンタクトレンズ（ハード・ソフト・カラー・連続装用など）は、必ずはずしてください。

コンタクトレンズをつけた状態での手術室入室は、いっさいできません。手術室入室時間までに、おはずしてください。はずしたコンタクトレンズを保管されるかたは、保管ケースや専用液などをご持参ください。

メガネをかけたままで、手術室に入室することができます。希望されるかたは、医療スタッフにお伝えください。またメガネケースをご持参ください。

⑪ アクセサリーなど

アクセサリ・装身具・携帯物品などは、手術室入室までにすべてはずしてください。



指輪・ネックレス・ペンダント・ブローチ・イヤリング・ピアス
時計・ブレスレット・バングル・アンクレット・ミサンガ・イヤークフ
ピン・クリップ・カチューシャ・バレッタ・コーム・かんざし・リボン
ベルト・ボディピアス（全身）・湿布・お灸・ピップエレキバン・カイロ
お守り・お札・お金・財布・キーホルダー・携帯電話・PC・手紙やメモ

上にあげた物品は、手術室にいっさい持ち込めません。手術室入室時間までに、すべて身のまわりからおはずしてください。

特に、お体にじかに触れているアクセサリは、電気メスが通電して大やけどが起きる可能性があります。抜けない指輪・はずれないピアス・ミサンガなどは、必ず早めに医療スタッフにお伝えください。

医療用のコルセット・サポーター・ネックカラーなどを常に装着されているかたは、必ず医療スタッフにお伝えください。

あらゆる貴重品について、院内でもし紛失や破損した場合に当院は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。診療に関係のない貴重品を病院に持ってこないよう、くれぐれもお願いいたします。